



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月12日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東
コード番号 3600 URL <https://www.fjx.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 一郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 松尾 勇治 (TEL) 075(463)8111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,481	9.6	△21	—	31	—	18	—
2026年3月期第1四半期	1,352	△4.3	△90	—	△56	—	△42	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 517百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △215百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	13.36	—
2026年3月期第1四半期	△30.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	13,241	10,987	77.5
2026年3月期	12,501	10,538	78.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 10,261百万円 2026年3月期 9,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,660	3.4	△187	—	△88	—	△114	△82.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	1,468,093株	2026年3月期	1,468,093株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	91,611株	2026年3月期	91,611株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	1,376,482株	2026年3月期1Q	1,376,564株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかながら回復基調が続いているものの、中東情勢の緊迫化による原油由来品の価格上昇や、供給不安、さらなる円安の進行による諸物価への影響など、先行きが不透明な状況となりました。

当社グループが関連するアパレル・ファッション業界や手芸関連業界は、インバウンド需要の減速に加え、物価上昇による消費者の節約志向の強まりにより、日本国内の衣料品の消費マインドは低下傾向となりました。

これらの状況を受けて、日本向け衣料品の生産は全般に慎重な手配が続いておりますが日本国内におきましては、ナフサ由来である縫い糸に対する供給不安や先行きの価格上昇の警戒感から、衣料縫製用縫い糸におきましては買い込み需要が発生しました。また、前年同期は米国の関税政策の不透明感から停滞していた米国向け商品の受注が回復傾向となりました。

これらにより当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,481百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

一方、利益面につきましては、売上高の増加や、販管費減少などの増益要因と、円安傾向や国内における原材料および資材価格の上昇、縫い糸生産の海外移行に伴う国内工場操業度の低下などの減益要因が相まって、営業損失は21百万円（前年同期は90百万円の損失）となりました。

また保有株式の受取配当金の増加などもあって、経常利益は31百万円（前年同期は56百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18百万円（前年同期は42百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

日本

当セグメントの第1四半期連結累計期間は、当社の2026年4月から6月まで、国内子会社の2026年2月から4月までの業績が連結されております。

当四半期のアパレル・ファッション業界や手芸関連業界におきましては、インバウンド需要の減速に加え、物価上昇による消費者の節約志向の強まりにより、日本国内の衣料品の消費マインドは低下傾向となりました。

これを受けて国内での衣料品の生産は、全般に慎重な手配が続いておりますが、当セグメントにおきましては、ナフサ由来である縫い糸に対する先行きの供給不安や価格上昇への警戒感から、衣料縫製用縫い糸におきましては買い込み需要が発生しました。また、前年同期は米国の関税政策の不透明感から停滞していた米国向け商品の受注が回復傾向となりました。

一方、国内の手芸関連業界におきましては、編み物など一部に堅調な分野があるものの、ソーイング需要は全般に低調で手芸分野の縫い糸の消費は回復が見られません。

これらにより、当セグメントの売上高は、1,224百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

また、利益面につきましては、売上高の増加や、販管費減少などの増益要因と、品目構成の変化、原材料および資材価格の上昇傾向や縫い糸生産の海外移行に伴う当社の工場操業度の低下などの減益要因が相まって、セグメント損失は17百万円（前年同期は42百万円の損失）となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第1四半期連結累計期間は、2026年1月から3月までの業績が連結されております。

当セグメントの主要な市場である中国におきましては、近年、日本向け衣料品の生産がベトナムを始めアジアの他国に移行したことに加え、同国内の衣料品消費の落ち込みにより、衣料品の生産は、当四半期も日本向け、同国内向けともに低調で、中国子会社におきましても販売面では厳しい環境が続きました。他方、ベトナムでは縫い糸の受注も堅調ながら、タイ国におきましては、衣料品消費が低調な状況が続いております。

これらにより、為替換算レート変動による影響もありましたが、当セグメントの売上高は257百万円（前年同期比2.8%増）にとどまりました。

一方、利益面につきましては、円安の影響を受けましたが、昨年から取り組んでいる原材料の調達価格低減やタイ国の子会社の経営改善策の効果に加えて、日本からの生産を移行したことによる工場稼働率の維持もあって、セグメント利益は5百万円（前年同期は36百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて740百万円増加し、13,241百万円となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の増加142百万円、投資有価証券の増加587百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて291百万円増加し、2,253百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加100百万円、その他（固定負債）の増加185百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて449百万円増加し、10,987百万円となりました。主な増減は、その他有価証券評価差額金の増加403百万円、為替換算調整勘定の増加77百万円などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期連結業績につきましては、2026年5月14日に公表いたしました「2026年3月期決算短信」における通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,482,013	2,555,300
受取手形及び売掛金	844,206	986,389
電子記録債権	368,149	414,649
棚卸資産	2,956,427	2,888,534
その他	70,369	94,848
貸倒引当金	△3,266	△2,657
流動資産合計	6,717,900	6,937,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,702,577	1,696,653
その他（純額）	623,048	619,893
有形固定資産合計	2,325,625	2,316,547
無形固定資産	231,288	235,714
投資その他の資産		
投資有価証券	2,674,844	3,262,669
その他	551,600	489,780
貸倒引当金	△175	△276
投資その他の資産合計	3,226,269	3,752,173
固定資産合計	5,783,184	6,304,435
資産合計	12,501,084	13,241,502
負債の部		
流動負債		
買掛金	433,111	533,613
未払法人税等	17,831	7,304
賞与引当金	38,273	19,188
その他	161,599	191,908
流動負債合計	650,816	752,015
固定負債		
役員退職慰労引当金	244,030	247,647
退職給付に係る負債	54,878	55,821
資産除去債務	32,788	32,788
その他	979,798	1,165,351
固定負債合計	1,311,495	1,501,608
負債合計	1,962,311	2,253,623

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	771,087	771,087
利益剰余金	5,709,506	5,659,069
自己株式	△109,611	△109,611
株主資本合計	7,294,307	7,243,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,490,205	1,893,250
為替換算調整勘定	976,695	1,054,240
退職給付に係る調整累計額	73,634	70,182
その他の包括利益累計額合計	2,540,535	3,017,673
非支配株主持分	703,929	726,334
純資産合計	10,538,772	10,987,878
負債純資産合計	12,501,084	13,241,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,352,279	1,481,781
売上原価	1,055,848	1,148,125
売上総利益	296,431	333,655
販売費及び一般管理費	386,517	355,633
営業損失(△)	△90,086	△21,977
営業外収益		
受取利息	2,265	3,095
受取配当金	27,788	47,235
その他	10,477	20,339
営業外収益合計	40,531	70,671
営業外費用		
為替差損	1,305	11,050
その他	5,911	6,484
営業外費用合計	7,217	17,534
経常利益又は経常損失(△)	△56,771	31,159
特別利益		
固定資産売却益	16,862	4
特別利益合計	16,862	4
特別損失		
固定資産売却損	—	173
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	173
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△39,908	30,990
法人税、住民税及び事業税	10,721	13,329
法人税等調整額	963	1,751
法人税等合計	11,685	15,081
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△51,593	15,908
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,141	△2,478
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,452	18,387

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△51,593	15,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,294	403,044
為替換算調整勘定	△146,142	102,428
退職給付に係る調整額	△1,321	△3,452
その他の包括利益合計	△163,757	502,021
四半期包括利益	△215,351	517,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△172,774	495,524
非支配株主に係る四半期包括利益	△42,577	22,405

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1, 101, 664	250, 615	1, 352, 279	—	1, 352, 279
外部顧客への売上高	1, 101, 664	250, 615	1, 352, 279	—	1, 352, 279
セグメント間の内部売上高 又は振替高	90, 120	195, 130	285, 250	△285, 250	—
計	1, 191, 785	445, 745	1, 637, 530	△285, 250	1, 352, 279
セグメント損失(△)	△42, 998	△36, 993	△79, 992	△10, 093	△90, 086

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△10, 093千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1, 224, 069	257, 711	1, 481, 781	—	1, 481, 781
外部顧客への売上高	1, 224, 069	257, 711	1, 481, 781	—	1, 481, 781
セグメント間の内部売上高 又は振替高	94, 866	197, 292	292, 158	△292, 158	—
計	1, 318, 935	455, 004	1, 773, 940	△292, 158	1, 481, 781
セグメント利益又は損失(△)	△17, 544	5, 925	△11, 619	△10, 357	△21, 977

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△10, 357千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	53,275千円	51,469千円

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、2026年7月15日開催の取締役会において、連結子会社である上海富士克制線有限公司が保有する固定資産を譲渡することを決議し、同日に不動産売買契約を締結いたしました。また、当該不動産売買契約に基づき、2026年7月22日付で当該固定資産を譲渡いたしました。

1. 連結子会社の概要

- | | |
|---------------|------------------|
| (1) 名称 | 上海富士克制線有限公司 |
| (2) 所在地 | 上海市青浦区北青公路10157号 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 総経理 藤井 翔太 |
| (4) 事業内容 | 縫い糸・刺しゅう糸の製造・販売 |
| (5) 資本金 | US\$6,900,000 |

2. 譲渡の理由

経営資源の有効活用、財務体質の強化を図るため、当該固定資産を譲渡することといたしました。

3. 譲渡資産の内容

- | | |
|---------|-----------------------------|
| (1) 所在地 | 上海市青浦区盈浦街道盈清路155弄19号 |
| (2) 面積 | 93.74m ² (建物：杜宅) |
| (3) 譲渡益 | 1,713千円 (40百万円) |

(注) イ. 帳簿価額、譲渡価額につきましては、譲渡先の意向により開示を控えさせていただきますが、市場価格を反映した適正な価格での譲渡となっております。

ロ. 譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額及び譲渡関連費用等を控除した概算額であります。

ハ. 2026年6月末日の為替相場23.78円/円で換算しております。

4. 譲渡先の概要

譲渡先につきましては、中華人民共和国の個人であります。譲渡先の意向により開示は控えさせていただきます。なお、当社と譲渡先との間には、記載すべき資本関係、人的関係、取引関係等の利害関係はありません。

5. 譲渡の日程

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2026年7月15日 |
| (2) 契約締結日 | 2026年7月15日 |
| (3) 物件引渡日 | 2026年7月22日 |

6. 当該固定資産の譲渡の損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡により発生する譲渡益は、当該連結子会社が12月決算であるため、引渡日の属する2027年3月期第3四半期連結決算において特別利益（固定資産売却益）として計上する予定であります。